

第6回 あま市小中学校あり方検討委員会 会議録（大要）

開催日時	令和5年9月28日（木）午前10時00分～午前11時00分
開催場所	あま市役所 2階 E会議室
出席委員	1 委員長 山田 貞二 （岐阜聖徳学園大学准教授） 2 副委員長 小林 優太 （愛知教育大学非常勤講師） 3 委員 溝口 紘 （有識者） 4 委員 石原 良子 （あま市立美和小学校校長） 5 委員 横田 健司 （あま市立七宝北中学校校長） 6 委員 山本 正子 （あま市保育園保育士長） 7 委員 林 弘樹 （宝学園（中川幼稚園）理事長） 8 委員 佐藤 明美 （保護者） 9 委員 古川 式規 （総務部次長兼財政課長） 10 委員 室田 裕貴 （企画政策課長） 11 委員 林 一史 （保育課長）
欠席委員	なし
事務局	1 伊藤教育長 2 鎌倉教育部長 3 加藤教育次長 4 徳永教育総務課長 5 寺澤学校教育課長 6 内山生涯学習課長 7 大堀スポーツ課長 8 水野指導主事主幹 9 石川教育総務課主幹 10 書記野々目課長補佐
傍聴人	0人
議事日程	（1）あま市小中学校あり方検討委員会報告書の決定について その他

発言者	議事の概要									
山田委員長	<p style="text-align: right;">【開会時刻 午前10時00分】</p> <p>定刻となりました。 本日はお忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。それでは、ただいまより第6回あま市小中学校あり方検討委員会を始めさせていただきます。</p>									
山田委員長	(挨拶)									
山田委員長	最初に本日の資料の確認を事務局にお願いします。									
教育総務課長	<p>本日の資料の確認をお願いします。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">1 次第</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">A 4</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1 枚</td> </tr> <tr> <td>2 あま市小中学校あり方検討委員会報告書(案)</td> <td style="text-align: right;">A 4</td> <td style="text-align: right;">1 部</td> </tr> <tr> <td>3 配付後変更点一覧</td> <td style="text-align: right;">A 4</td> <td style="text-align: right;">1 枚</td> </tr> </table> <p>以上です。</p>	1 次第	A 4	1 枚	2 あま市小中学校あり方検討委員会報告書(案)	A 4	1 部	3 配付後変更点一覧	A 4	1 枚
1 次第	A 4	1 枚								
2 あま市小中学校あり方検討委員会報告書(案)	A 4	1 部								
3 配付後変更点一覧	A 4	1 枚								
山田委員長	それでは、市教育委員会を代表しまして、教育長よりご挨拶をお願いします。									
教育長	(挨拶)									
山田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本委員会の議事録の概要を市ホームページで公開するため、事務局が委員会の内容を録音させていただきますので、ご承知おきください。</p>									
山田委員長	<p>それでは、「議題(1)あま市小中学校あり方検討委員会報告書の決定」に入ります。</p> <p>事務局をお願いします。</p>									
教育総務課長	<p>前回の委員会で、報告書案についてご意見をいただきました。</p> <p>そして、前回の委員会後に追加でご意見をいただきました。</p> <p>前回の委員会後に追加でいただいた修正点について担当から説明をさせていただきます。</p>									
書記	<p>ご説明します。</p> <p>配付後変更点一覧をご覧ください。</p> <p>①全体 代表意見から意見の要旨へ 「○代表意見」を「○意見の要旨」に変更</p> <p>②カギカッコ追加 (2) 小中一貫校中、公共施設再配置計画からの引用をカギカッコに入れる 「秋竹小学校を～配慮します。」</p> <p>③字句修正 (2) 小中一貫校中の意見の要旨中、すすめ方を進め方に変更</p> <p>④字句修正 (4) これからの学校～の意見の要旨中、取り組みを取組に変更</p> <p>⑤字句修正 (6) 働く場としての学校の意見の要旨中、取り組みを取組に変更</p> <p>⑥字句修正 資料編(3)都市計画マスタープラン概要版中 防災・減殺力欄中の暗線安心を安全安心に変更</p>									

	<p>⑦です、まず調べの統一</p> <p>⑧生かすと活かすは、活かすへ統一する</p> <p>⑨ 1. (2) 「従前の基本的な方針から新しい基本的な方針へ」に説明文を一行追加 従前の基本的方針を見直し、現状に則した新しい基本的方針を策定する。</p> <p>⑩ 1. (2) 中、あま市総合管理計画等をあま市公共施設等総合管理計画等に修正する。</p> <p>⑪ 2. 児童生徒数の動向 折れ線グラフのラベルの位置を微調整</p> <p>⑫ 3. あり方検討委員会での検討課題と意見 最初に説明文を追加 あり方検討委員会は、あま市立小中学校の将来を見据えた学校のあり方に係る基本的方針及び方策を教育委員会が策定するに当たり、教育委員会へ学校関係者及び市民等から意見を述べるための附属機関に準じる機関です。学校関係者や市民等の意見を反映させることを目的に意見を述べる委員会ですので、何らかの意思決定を行うものではなく、特定の事項について判定ないし結論を導き出すものではありません。 あり方検討委員会では、次の6つの課題について検討を行いました。</p> <p>⑬ 3 (1) 課題の2行目中、南部(七宝)地区に4分の1“が”ありますに修正</p> <p>⑭ 3 (1) 課題の(規模)欄中、35人学級と教室数。教室の広さを35人学級となることで必要教室数が増加する。様々な活動をするにあたり、学校建設当時と比べて児童生徒の発育状況が異なるうえ、感染症対策などを考慮したとき、教室の広さは適当か。に修正</p> <p>⑮ 3 (1) に小規模校と大規模校の定義を追加</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%; text-align: center;">小学校</th> <th style="width: 35%; text-align: center;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過小規模校</td> <td style="text-align: center;">1学級 ～ 5学級</td> <td style="text-align: center;">1学級 ～ 5学級</td> </tr> <tr> <td>小規模校</td> <td style="text-align: center;">6学級 ～ 11学級</td> <td style="text-align: center;">6学級 ～ 8学級</td> </tr> <tr> <td>適正規模校</td> <td style="text-align: center;">12学級 ～ 18学級</td> <td style="text-align: center;">9学級 ～ 18学級</td> </tr> <tr> <td>大規模校</td> <td style="text-align: center;">19学級 ～ 30学級</td> <td style="text-align: center;">19学級 ～ 24学級</td> </tr> <tr> <td>過大規模校</td> <td style="text-align: center;">31学級 ～</td> <td style="text-align: center;">25学級 ～</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑯ (4) ③の意見の要旨中、それぞれの児童生徒がそれぞれの特性を児童生徒がそれぞれの特性に修正</p> <p>⑰ (6) 課題中、「チーム学校として教職員に教育活動に」を「教職員が教育活動に」に修正</p> <p>⑱ 文末「。」追加、「てにをは」の字句修正</p> <p>⑲ (4) ②学校間交流説明欄の幼保小高社会→幼保小中高社会字句修正</p> <p>⑳ (4) ③特別支援教育における学校のあり方説明欄 教育相談センターの()内に教育相談室、学校支援室を追加</p> <p>㉑ (6) 働く場としての学校の課題欄 働き方改革が対策され→働き方改革への対策が実施され以上です。</p>		小学校	中学校	過小規模校	1学級 ～ 5学級	1学級 ～ 5学級	小規模校	6学級 ～ 11学級	6学級 ～ 8学級	適正規模校	12学級 ～ 18学級	9学級 ～ 18学級	大規模校	19学級 ～ 30学級	19学級 ～ 24学級	過大規模校	31学級 ～	25学級 ～
	小学校	中学校																	
過小規模校	1学級 ～ 5学級	1学級 ～ 5学級																	
小規模校	6学級 ～ 11学級	6学級 ～ 8学級																	
適正規模校	12学級 ～ 18学級	9学級 ～ 18学級																	
大規模校	19学級 ～ 30学級	19学級 ～ 24学級																	
過大規模校	31学級 ～	25学級 ～																	
山田委員長	ありがとうございました。																		

山田委員長	<p>前回、指摘した修正点は反映されていましてでしょうか。</p> <p>お一人ずつ、これ以上の修正部分はなくこの報告書で良い、又は何番のテーマについてご意見を追加したり、削除したり、修正したりする部分があるかについておっしゃってください。</p>																								
小林副委員長	<p>内容としては、まとめていただいた本案で良いと思います。</p> <p>表記の統一として、“など”と“等”がバラバラであると思いますので、統一していただくと良いと思います。</p> <p>また、これは修正依頼ではありませんが、(4)①の意見の要旨の中に学校運営協議会と地域ボランティアの取組について、教育委員会は、広く市民へ広報してはどうかという記載をしていただきました。市民の方々に広く知っていただいて、若い世代にもかかわっていただけることも増えてきているのかなと思います。ぜひ、実現に向けてお願いしたいと思います。</p>																								
溝口委員	<p>3. あり方検討委員会での検討課題と意見</p> <p>最初に説明文を追加していただいて、分かりやすくなりました。</p> <p>(4)③教育相談センター(適応指導教室)に教育相談室、学校支援室を追加とありますが、教育相談“室”が切れて、表示されていませんので、修正願います。</p>																								
石原委員	<p>修正していただいて、見やすく分かりやすくなりました。</p> <p>修正点として、(4)③特別支援教育における学校のあり方の意見の要旨について、障害などの特性“を持つ”を“がある”にした方がいいと思います。特性について、好きでもっているわけではなく、あるとした方が自然であると思います。</p>																								
横田委員	<p>内容については、特に思う所はありません。</p> <p>(1)小規模校と大規模校の課題中、小規模校と大規模校の数が小学校はありますが、中学校については言及がないので、追加していただいた方が良いと思います。</p> <p>1.(2)従前の基本的な方針から新しい基本的な方針への2つめのカッコ内の4つめの・欄で、“基本方針の期間は、～明記する。“の最後の”る。“だけが改行されているものを、同じ行に含められないかと思います。</p>																								
教育総務課長	<p>令和5年5月1日現在のあま市立小中学校普通学級数</p> <table border="0"> <tr> <td>七宝小学校</td> <td>普通12</td> <td>適正規模校</td> </tr> <tr> <td>宝小学校</td> <td>普通6</td> <td>小規模校</td> </tr> <tr> <td>伊福小学校</td> <td>普通12</td> <td>適正規模校</td> </tr> <tr> <td>秋竹小学校</td> <td>普通6</td> <td>小規模校</td> </tr> <tr> <td>美和小学校</td> <td>普通12</td> <td>適正規模校</td> </tr> <tr> <td>正則小学校</td> <td>普通12</td> <td>適正規模校</td> </tr> <tr> <td>篠田小学校</td> <td>普通12</td> <td>適正規模校</td> </tr> <tr> <td>美和東小学校</td> <td>普通11</td> <td>小規模校</td> </tr> </table>	七宝小学校	普通12	適正規模校	宝小学校	普通6	小規模校	伊福小学校	普通12	適正規模校	秋竹小学校	普通6	小規模校	美和小学校	普通12	適正規模校	正則小学校	普通12	適正規模校	篠田小学校	普通12	適正規模校	美和東小学校	普通11	小規模校
七宝小学校	普通12	適正規模校																							
宝小学校	普通6	小規模校																							
伊福小学校	普通12	適正規模校																							
秋竹小学校	普通6	小規模校																							
美和小学校	普通12	適正規模校																							
正則小学校	普通12	適正規模校																							
篠田小学校	普通12	適正規模校																							
美和東小学校	普通11	小規模校																							

	<p>甚目寺小学校 普通 17 適正規模校 甚目寺南小学校普通 24 大規模校 甚目寺東小学校普通 19 大規模校 甚目寺西小学校普通 17 適正規模校 七宝中学校 普通 12 適正規模校 七宝北中学校 普通 6 小規模校 美和中学校 普通 20 大規模校 甚目寺中学校 普通 18 適正規模校 甚目寺南中学校普通 16 適正規模校</p> <p>小 中</p> <p>小規模校 6～11 6～8 適正規模校 12～18 9～18 大規模校 19～30 19～24</p>
林委員	<p>内容的に修正をお願いするというものではありません。今回の報告書に限らない話ではあるのですが、幼保小の連携というものが、よく出てきます。私の幼稚園が私立幼稚園ということもあるかもしれませんが、幼保小の連携といったとき、具体的にはどのような事が考えられるのかよくわからないというのが現状です。</p> <p>小学校との連携の必要性は確かにあると思います。</p> <p>今の連携が十分なのか、不十分なのかもよくわかっていません。</p> <p>幼稚園を卒園した園児たちが、小学校に入った後どうなっているのかもよく分かっていません。</p> <p>現状で要件を満たしているとみるものか、これからプラスで推進していくものかということも分かっていません。</p> <p>私の園で言うと、名古屋市の小学校にあがっていく園児が多いのですが、名古屋市では学校ごとで対応がまちまちです。</p> <p>ある小学校では、クラス編成もお願いされたりもあります。</p> <p>幼保小の連携と言われても、いまいちピンとこないというのが率直な意見です。こう変えて下さいという話ではありません。</p>
石原委員	<p>あま市では、夏ごろに各園の園長先生らと小学校の校長、幼稚園、保育園の先生と1年生の担任や教務主任などが情報連携をする会を設けています。</p> <p>それとは別の、個々の園と小学校との交流はコロナ禍の影響もあって行えていなかったのですが、1年生と幼稚園・保育園との交流行事は今年度又は今後小学校としては考えています。</p> <p>しかし、小学校から中学校に上がる際には、基本的に全児童がそのまま多くは一つの学校に進学するのですが、幼稚園・保育園から小学校は、様々な園から進学してくることもあり、全ての幼稚園・保育園の先生に来ていただいているということは難しいとも思います。</p> <p>小学校にあがった1年生の様子を動画に撮って、幼稚園や保育園にお渡ししたりということは、行っています。</p> <p>それらが、十分かどうかということとは分かりません。</p>
山田委員長	<p>小1プロブレムという言葉がありますが、幼稚園・保育園から小学校への移行がスムーズに行えているのかということ、必ずしもそうでない部</p>

	<p>分もあるのかと思います。</p> <p>コロナの影響もあると思います。</p> <p>意見の要旨では、幼保小中の詳細な情報連携とスムーズな移行とあります。スムーズな移行とありますので、目指す方向としては、情報連携だけではないかと思います。教員間の交流もあったりですとか、子どもが交流することも考えられると思います。</p> <p>情報連携とスムーズな移行という表現で良いのかということです。</p> <p>小中の連携は比較的やりやすいかと思います。</p> <p>幼保小の部分で、もう少し表現を足すか否かということですか。</p> <p>保護者目線という部分で、佐藤委員から何かご意見を頂けますか。</p>
佐藤委員	<p>私は、たまたま学校についての情報を得やすい立場にいたこともあり、学校にうかがう機会も多くありました。地元の幼稚園の先生や保育園の先生が学校訪問の際にいらっしゃっていたこともありました。</p> <p>卒園してからの子どもたちの学校での様子を見に来ていました。</p> <p>幼稚園・保育園から小学校にあがる、小学校から中学校にあがるということは、子どもたちにとって、とても大きなことですので、幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校が連携を取っていただくことは、ありがたいことだと思います。</p>
山田委員長	<p>(4)②の意見の要旨において、市内小中学校間の交流を支援するとある部分に幼保小の交流も含めてはどうでしょうか。</p> <p>“市内小中学校間”とあるものを“市内幼保小及び小中学校間”としてはどうですか。</p> <p>林委員どうですか。</p>
林委員	<p>理想としては良いと思います。</p>
山田委員長	<p>どこまでできるのかは、分かりませんが、交流を支援していくという方向性は、良いと思います。実際には、学校と園が動くことになるのだと思います。どちらが、というよりは、幼稚園・保育園と小学校の双方が意識をもってということが必要なのだと思います。</p> <p>(4)②意見の要旨を“市内幼保小及び小中学校間の交流”とすることによろしいですね。</p>
佐藤委員	<p>全体的に分かりやすくまとめていただきました。</p> <p>訂正や修正ではなく、質問なのですが、(2)小中一貫校において、小中連携教育と小中一貫教育と説明がありますが、その違いがよくわからないので、説明していただけますか。</p>
教育総務課長	<p>説明文そのものは、他から持ってきた表現ではあります。</p> <p>考え方としては、小中連携教育は、小学校は小学校、中学校は中学校とあるままで、情報交換や交流を行いつつ、円滑な接続を目指すもので、小中一貫教育は、小中の9年間を通して一つの目標を設定し、6・3制に限らず、4・3・2制など多彩な方法で義務教育を行うものです。</p> <p>説明文を多くすると、紙幅の関係で、どうしても文字が小さくなってしまいう問題があり、さらに説明を足すか否か判断に迷う部分でもあると思います。説明文をもう少し足してもよいでしょうし、本報告後の具体化するときに詳細に説明文を書いてもよいとも思います。</p>

山田委員長	<p>小中連携から小中一貫教育、最後は義務教育学校と、順番に一体としての教育がなされるものです。</p> <p>小中連携では、小学校でも中学校でもそれぞれに目標を設定します。小中それぞれに目指す児童像、生徒像があるのですが、小中一貫教育では、小中で目標が設定され、目指す生徒像は一つになります。義務教育学校では、小中一貫教育が行われるうえ、校長も一人になり、完全に一体化するというイメージです。</p> <p>あま市がどこを目指していくのかは、これからの議論になると思います。</p>
古川委員	<p>この報告書を教育委員会で報告されるということですが、報告書として1枚目2枚目と説明されていて、ページ数がふられていないので、使いづらいなという印象を持っています。</p> <p>目次やページ番号をふったら良いなと思います。</p>
室田委員	<p>前回の報告書案から格段に理解しやすくなりました。</p> <p>細かい修正については、事前に事務局にお伝えしており、その分については反映されていました。</p>
林委員	<p>前回委員会を欠席したので、今回初めて参加させていただきました。</p> <p>報告書案を拝見しました。全体的には、よくまとまっているなと感じています。</p> <p>(3) 施設等の共有化・複合化のところで、今現在は学校の空き教室の確保が難しいということは理解していますが、今後、空き教室がでてきたところでは、児童クラブの複合化を全校で考えていただけるとありがたいなと思います。</p> <p>(6) 働く場としての学校において、教職員の働き方改革について、保育園でも同じ状況なのですが、正規職員が不足で、かなりの数の非正規職員にフォローしていただいている状況があります。県教委へのお願いということで、ここに記載する内容ではないかもしれませんが、正規職員の確保については、今後の課題となってくるのではないかなと思います。報告書に修正をお願いするというものではありません。</p> <p>保育士の確保も本当に苦労しているところですので、学校も同じではないかと想像します。</p>
山田委員長	<p>教員数については、教育長先生に頑張ってくださいということになると思います。深刻で切実な問題だと思います。</p>
山本委員	<p>全体としては、いろいろな方が見て、見やすくなっていると思います。</p> <p>(2) 小中一貫校について中、“子供像”を“子ども像”としてはどうか。</p>
山田委員長	<p>“子供”の“供”の取り扱いは、自治体によって違うという印象ですが、あま市ではどうなのでしょう。</p>
教育総務課長	<p>“子供”の“供”をひらがなで表記する流れが、おおよそ十数年前から始まって、一時期は子供の供を漢字表記とすることは、よろしくないという時期もありましたが、最近では再び、国等の表記でも漢字表記も出てきているという印象を持っています。</p> <p>どちらかに統一するのが重要かなと考えています。</p> <p>ひらがなの“ども”の方が柔らかい印象を与えますので、ご意見をい</p>

	<p>ただいたので、ひらがなの“ども”に統一するということがでしようか。</p>
教育長	<p>二点見落としがありました。</p> <p>(2) 小中一貫校中、右下の県内例について、西尾市立佐久島しおさい学校は、義務教育学校ですので、“(義務教育学校)”を追加させていただこうと思います。</p> <p>(4) ①学校と家庭と地域のあり方の(開かれた学校づくり)中、旧町の垣根を“越える”とありますが、この“越える”と、1. 検討の目的(2)二つ目の○新しい基本的な方針に係る報告書(あり方検討委員会)二つ目の・欄では、“超えた”と表記が一致していません。正しい方の“越える”に統一させていただこうと思います。</p>
小林委員	<p>(2) 小中一貫校について○課題中、左下の小中一貫校の説明部分の図について、一部の線が細くなっていること、中の線は点線にして、最下段に色を付けて、“義務教育学校(小中一貫校)9年生”、“前期課程6年間”、“後期課程3年間”をセンタリングしていただいた方が良いかなと思います。</p> <p>(小中一貫校の検討)欄が少し下がっているので、上にあげていただいて、県内例が義務教育学校と横並びになるようにしてはどうかと思います。</p>
山田委員長	<p>(4) ③特別支援教育における学校のあり方の意見の要旨中、“校内の適応指導教室、特別支援学級、市の適応指導教室の間の切れ目ない支援を行ってはどうか。”とありますが、不登校の児童生徒は、民間の施設へも良く行っていますので、民間の施設も含めてはどうでしょうか。</p> <p>出席とするかどうかはともかく、様々な施設へ児童生徒は行くようになってきて、多様性が出てきているところです。連携をする必要はあると思いますので、“他の民間の施設を含めた”を挿入出来たら良いと思います。</p> <p>同じく、最後のところで、“それぞれの特性に応じて自分を活かせるような環境整備”とあるところを、“自分を活かし、多様な学びを実現できる環境整備”としてはどうでしょうか。文部科学省も多様な学びという言葉を使うことが増えてきています。</p> <p>よろしいですかね。</p>
山田委員長	<p>(6) 働く場としての学校の意見の要旨中、“ICTを積極的に活用”の部分です。これから、AIも学校では使うことが増えてくるとおもわれます。既にかなり使っているところもあると思います。そこで、“ICT及びAIを積極的に活用”としてはいかがでしょうか。</p> <p>子どもが使う所は、いろいろ議論があると思いますが、先生方が使う分には効率が良くなって、かなり変わってくると思います。</p> <p>いかがでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>あとは、非常に見やすくなって、良い報告書になったと思います。</p>
山田委員長	<p>一通り、皆様にご意見をいただいた所ですが、最後に言い忘れたところ、追加したいご意見等ありますでしょうか。</p>
溝口委員	<p>(4) ③特別支援教育における学校のあり方についてです。外国人の日本語教育について、どこか入れられないかなと思います。</p>

	最近は、外国人がとて多くなってきました。
山田委員長	あま市も外国にルーツのある児童生徒は増えていますか。
石原委員	本校にも外国にルーツのある児童はいます。市の語学相談員や県派遣の相談員の支援によって語学支援が行われています。
横田委員	本校にはいませんが、市内の中学校では外国にルーツを持つ生徒は、多くいると思います。
山田委員長	外国にルーツを持つ児童生徒についても、ひとつの大きな課題であると言えますので、もし入れていくとなると③しかないのかなと思います。ただ、図のなかに入れることは難しいと思いますので、説明欄右側の文章のところと“()”内に“外国にルーツを持つ児童生徒への支援”を追加する形でいかがでしょうか。
林委員	同じページの表のなかで、“幼稚園、保育園”とある部分に“認定こども園”も追加していただくと良いと思います。
山田委員長	ありがとうございました。
山田委員長	追加でご意見を発表されたい方、ご質問がある方はいらっしゃいますか。 もう、無いということで、以上にしたいと思います。 本日の修正部分を反映させたものをあま市教育委員会に報告するというので、決定するというのでよろしいでしょうか。 追加のご意見はないということで、修正したもので決定といたします。
山田委員	以上で、本日の議題を全て終了しました。 事務局に進行をお返しします。
教育総務課長	委員の皆様ありがとうございました。 本日、決定していただいたあま市小中学校あり方検討委員会からの報告書については、令和5年10月教育委員会定例会に報告をいたします。 この報告書を受け、10月教育委員会定例会又は継続審議の可能性もありますが、あま市教育委員会の基本の方針を決定いたします。 基本の方針を決定した後は、パブリックコメント、総合教育会議を経て、具体的な方策を策定し、具体的方策について意見を聴取する あま市小中学校あり方課題別検討委員会 を開催する予定をしています。 その後は、具体的方策を実行していく予定をしています。 以上が、本日いただいた報告書の内容についての今後の予定となります。

教育総務課長	<p>本日はお疲れさまでした。</p> <p>本日の会議の大要をまとめた議事録を作成しだいまま市ホームページで公開します。</p> <p>長期間にわたり、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【閉会時刻 午後 1 1 時 0 0 分】</p>
--------	---